

## 「志願票」「あて名票」「受験票・写真票」作成上の注意

### 1. 共通の注意事項

- ・黒または青のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと(未記入提出と同様の扱いになる)。
- ・誤って記入した場合は、誤記入箇所を二重線で消し押印もしくはサインのうえ、余白部分に正しい情報を記入すること。
- ・募集要項をよく読み、記入すること。

### 2. 志願票の注意事項

- ・「受験区分」の社会人特別入試は、出願時において3年以上の社会人としての経験を有し、かつ、2019年(平成31年)3月31日において27歳に達する者でなければ出願できないので注意すること。
- ・国際日本専攻志望の者は、「選択受験科目」の記入は不要である。
- ・「フリガナ」はカタカナで、「氏名」は漢字(漢字名がない者はアルファベット)で記入すること。
- ・研究テーマは、50字以内を目安として記入すること。
- ・希望指導教員は本学の大学院案内やWebサイト、次頁などを参考にし、志望コースを担当する教員を選択すること。
- ・国際社会コース志願者は、必ず「研究対象地域」を記入すること。
- ・現住所、連絡先は、本学からの問い合わせに確実に対応できる情報を記入すること。日本国外在住の志願者においては、連絡先に国内在住の代理人の情報を記入すること。
- ・国籍が日本ではなく、在留資格が「留学」以外の者は、履歴書の「在留資格」の{その他}の欄に、在留資格を明記すること。
- ・「出願資格」の年月日は、卒業(見込)証明書の卒業(見込)年月日を記入すること。卒業見込証明書で日の記載がない場合は、該当月の末日を記入すること。  
また、{学部}{学科}{課程}については、出身大学により「学群」「学類」等に適宜修正してよい。
- ・アルバイトやパートタイム勤務・その他非常勤の者は{無職または非常勤等}に分類される。
- ・裏面の「履歴書」は、全員記入すること。
- ・「学歴」の初等教育、中等教育、高等教育において、入学年月から卒業年月の期間と修業年限に相違がある場合は、その理由を別紙に記入の上、併せて提出すること。  
※大学の入学・卒業年月は、提出する各種証明書の記載に合致するよう記入すること。
- ・記入欄に書ききれない場合は、適当な別紙に記入し、添付して提出すること。

### 3. あて名票の注意事項

- ・郵送先のポストと同じ氏名表記でない場合、郵送物が投函されないケースが報告されている。必ず郵送先のポストの表記にあわせて記入すること。
- ※代理人を通して出願する者は、ポストの表記を確認することも含め、上記を必ず代理人へ伝達すること。

### 4. 受験票・写真票の注意事項

- ・氏名(フリガナ)の表記は、志願票に記載した事項と同じ表記で記入すること。

# 総合国際学研究科教員一覧(博士前期課程)

(A):アジア・アフリカ言語文化研究所所属教員 ※:主任指導教員になることができない教員  
 教員一覧の内容は2018年度当初の情報をもとに作成したものです。教員の異動等により、今後、変更の可能性あります。

## 世界言語社会専攻

### 言語文化コース

教員名	専門分野
青山 亨	東南アジア宗教史
秋廣 尚恵	フランス語学
荒原 邦博	フランス文学、文化史
栗屋 利江	南アジア近代史
五十嵐 孔一	朝鮮語学
市川 雅教	統計学
岩崎 務	西洋古典文学
上田 広美	カンボジア語学
浦田 和幸	英語学
大谷 直輝 ※	英語学、認知言語学
岡田 知子	カンボジア文学
岡野 賢二	ビルマ語学
風間 伸次郎	アルタイ諸言語
加藤 晴子	中国語学
加藤 雅二	アメリカ文学・文化
金指 久美子	スラブ語学
川上 茂信	スペイン語学
川口 裕司	フランス語学
久野 量一	ラテンアメリカ文学
黒澤 直俊	ポルトガル語学
小久保 真理江 ※	芸術文化
斎藤 弘子	英語音声学
逆井 聡人 ※	比較文学(近現代東アジア)
佐々木 あや乃	ベルン古典文学
佐野 洋	情報工学
塩原 朝子 (A)	インドネシア諸言語の記述研究
品川 大輔 (A)	記述言語学
島田 志津夫 ※	中央アジア地域研究
周 育佳 ※	言語教育学、英語教育学
菅原 睦	チュルク語
鈴木 聡	アングロ・アイリッシュ文学
鈴木 玲子	ラオス語学
武田 千香	ブラジル文学
田島 充土	教育心理学
趙 義成	朝鮮語学
ティップ ティエボン・コースフィット ※	タイ文化・文学
た野 由紀夫	コーパス言語学
土佐 桂子	東南アジア人類学
内藤 稔 ※	コミュニティ通訳研究
中川 裕	音声学・音韻論
中山 俊秀 (A)	北米先住民諸言語
長屋 尚典	言語学、オーストロネシア諸語
南 潤珍	朝鮮語学
成田 節	ドイツ語学
西岡 あかね	ドイツ文学
丹羽 京子	ベンガル文学
温品 廉三 ※	モンゴル語学

沼野 恭子	ロシア文学
根岸 雅史	英語教育学
野平 宗弘	ベトナム文学
野元 裕樹	言語学、マレー語学
萩田 博	ウルドゥー語学・文学
橋本 雄一	中国近現代文学
林 和宏	イタリア古典文学
林 佳世子	オスマン朝史
匹田 剛	ロシア語学
藤縄 康弘	ドイツ語学
降幡 正志	インドネシア語学
ボロンガ・ン・アリアン・マカリガ ※	社会言語学
前田 和泉	現代ロシア文学
益子 幸江	音声学
真鍋 求	神経生理学
萬宮 (小牧) 健策	ウルドゥー語
丸山 空大 ※	宗教学、近代ユダヤ思想
水野 善文	インド思想
峰岸 真琴	オーストラリア諸語
箕浦 信勝	言語学、手話諸言語
三宅 登之	現代中国語
望月 圭子	対照言語学
望月 源	自然言語処理
森田 耕司	スラヴ言語学
八木 久美子	宗教学、イスラム思想
山口 裕之	ドイツ文化・思想
山越 康裕 (A)	モンゴル諸語
山本 真司	イタリア語学
吉枝 聡子	イラン諸語研究
吉富 朝子	第二言語習得
吉本 秀之	科学技術史

加藤 美帆	教育社会学
蒲生 慶一	国際経済学
菊池 陽子	ラオス近現代史
金 富子	ジェンダー論
木村 暁 ※	中央アジア史
目下部 尚徳 ※	バングラデシュ現代社会論
久米 順子	西洋美術史
倉田 明子	中国近代史
栗田 博之	オセアニア研究
栗原 浩英 (A)	ベトナム現代史
近藤 信彰 (A)	イラン近代史
坂井 真紀子	アフリカ開発社会学
佐々木 孝弘	アメリカ社会史
澤田 ゆかり	現代中国研究
篠原 琢	中東欧近代史
鈴木 茂	ブラジル史
鈴木 美弥子	民法
鈴木 義一	現代ロシア研究
芹生 尚子	フランス社会史(近世・近代)
左右田 直規	マレーシア政治社会史
高橋 均	ラテンアメリカ史
武内 進一	アフリカ研究、国際関係論
田島 陽一	国際経済学
巽 由樹子 ※	ロシア近現代史
千葉 敏之	ヨーロッパ中世史
出町 恵 ※	国際経済論
中山 智香子	経済思想・社会思想
中山 裕美 ※	国際関係論
西井 涼子 (A)	東南アジア人類学
丹羽 泉	朝鮮宗教学
深澤 秀夫 (A)	社会人類学
福嶋 千穂 ※	近世ポーランド・リトアニア史
藤井 毅	インド近現代史
真島 一郎	文化人類学
松隈 潤	国際法
宮田 敏之	タイ経済研究
山内 由理子	オセアニア地域研究
吉田 ゆり子	日本近世史
米谷 匡史	日本思想史
李 孝徳	比較文学
若松 邦弘	比較政治

### 国際社会コース

教員名	専門分野
青木 雅浩	モンゴル近現代史
青山 弘之	現代東アラブ政治
飯塚 正人 (A)	中東地域研究
伊東 剛史	イギリス近代史
今井 昭夫	ベトナム近現代史
今福 龍太	メディア批評
岩崎 稔	哲学/政治思想
内山 直子 ※	開発経済学、ラテンアメリカ地域研究
大石 高典 ※	アフリカ地域研究
大川 正彦	現代政治理論
小笠原 欣幸	台湾政治
岡田 昭人	比較・国際教育学
小川 英文	東南アジア考古学
小田原 琳	イタリア史

### Peace and Conflict Studiesコース

教員名	専門分野
伊勢崎 賢治	平和構築
篠田 英朗	平和構築
松永 泰行	政治学、国際関係論

## 国際日本専攻

教員名	専門分野
阿部 新	日本語教育学
荒川 洋平	認知言語学
石澤 徹 ※	日本語教育学
伊集院 郁子	日本語教育学
伊東 克洋 ※	日本語教育学
イリス・ハウカンブ ※	日本映画史、映画研究
海野 多枝	言語教育学
大津 友美	日本語教育学
川村 大	日本語学
木村 正美 ※	日本史、日本国際関係・外交
楠本 徹也	日本語学

工藤 嘉名子	日本語教育学
小松 山美	異文化間コミュニケーション
坂本 恵	日本語学
柴田 勝二	日本近代文学
菅長 理恵	日本語、日本文学
鈴木 智美	日本語教育学
鈴木 美加	日本語教育学
伊達 宏子 ※	日本語教育学
谷口 龍子	語用論、日本語教育学
友常 勉	日本思想史
中井 陽子	日本語教育学
中村 彰	日英統語論

花崗 悟	日本語学
早津 恵美子	日本語学
春名 展生	日本史、日本政治
フィリップ・シートン	現代日本研究
藤村 知子	日本語教育学
藤森 弘子	日本語教育学
ポーター・ジョン ※	日本史
宮城 徹	異文化間コミュニケーション
村尾 誠一	日本古典文学
堯 隆博	数学
幸松 英恵 ※	日本語学
林 俊成	言語教育学